

尾島図書館だより

NO.186 2019. 4. 1 太田市立尾島図書館

新年度がはじまりました。
今年度も皆様のご利用をお待ちしております。



日日是好日 日日是好日

昨年公開され、日本を代表する名女優・樹木希林さんの最後の出演作となった映画作品のタイトルにも使われた言葉です。

原作の『日日是好日-「お茶」が教えてくれた15のしあわせ』（森下典子/著）は図書館でも多くの方に読まれています。

この言葉は、中国唐時代の雲門文偃（ぶんえん）禅師の語です。

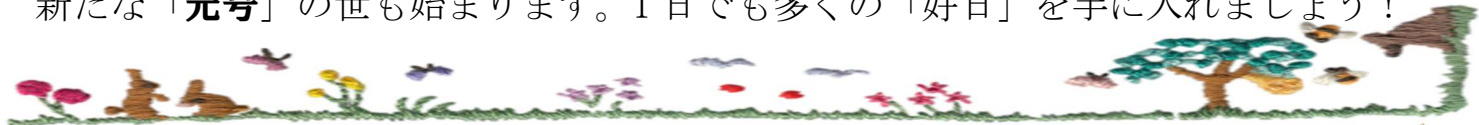
禅師と弟子の禅問答を記した『碧巖録』の中に登場します。

意味は「毎日が好日（良い日）である」ですが、この「好日」は良い事や楽しい事ばかりが起こる日、ということではありません。むしろ、そういう良し悪しや優劣、損得といった比べっこをやめて、この一日は二度とない一日であり、かけがえのない一時である。この一日を精一杯に生きることが出来れば素晴らしい一日になる、ということなのです。

つまり、毎日を「好日」にできるかどうかは自分の心がけ次第！！

4月、はじまりの季節—新しい環境に飛び込んでいく方も多いと思います。

新たな「元号」の世も始まります。1日でも多くの「好日」を手に入れましょう！



「元号」に関する本の紹介。（※太田市立図書館所蔵本）

日本人にとっては当たり前のように使っている“元号”ですが、世界で日本だけがもつ紀年法（年数を数える方法）なのです。

「日本の元号 由来と意味がよくわかる」

「元号 全247総覧」

「元号 年号から読み解く日本史」

「天皇と元号の大研究」

「ジャパクラス ホワイジャパニーズピープル!？」

「天皇と元号から日本史を読む方法」

「元号って何だ？ 今日から話せる 247 回の改元舞台裏」

4月の休館日

1日（月）

8日（月）

15日（月）

22日（月）

26日（金）

29日（月）



2019.「こどもの読書週間」 4月23日～5月12日



“そこ”にいながら、旅ができる—
行き先は、物語の作者と読み手の想像力が
紡ぎだす世界です。
それが読書のだいご味の一つでもあります。
この機会に、たくさんの物語の扉を開いてみて
ください。

そこで・・・

～冒険や旅をテーマにした本のしょうかい～

- 『ガリバー旅行記』『地底旅行』『岩くつ王』
- 『ハックルベリーフィンの冒険』『三銃士』
- 『ロビンソン・クルーソー』『宝島』
- 『海底二万マイル』『シンドバッドの冒険』
- 『ドリトル先生航海記』『十五少年漂流記』
- 『星の王子さま』『ニルスのふしぎな旅』
- 『南総里見八犬伝』『東海道中膝栗毛』
- 『銀河鉄道の夜』『家なき子』『奇妙な旅行』



2019年『本屋大賞』4月9日(火) 発表！！

『本屋大賞』は、全国の書店員が投票によって「最も売りたい本」を決める賞です。今回のノミネート作品10作をご紹介します。(50音順)

「愛なき世界」	三浦しをん(著)	中央公論新社
「ある男」	平野啓一郎(著)	文藝春秋
「さざなみのよる」	木皿 泉(著)	河出書房新社
「そして、バトンは渡された」	瀬尾まい子(著)	文藝春秋
「熱帯」	森登美彦(著)	文藝春秋
「ひと」	小野寺史宜(著)	祥伝社
「ひとつむぎの手」	知念実希人(著)	新潮社
「火のないところに煙は」	芦沢央(著)	新潮社
「フーガはユーガ」	伊坂幸太郎(著)	実業之日本社
「ベルリンは晴れているか」	深緑野分(著)	筑摩書房

